授業科目　臨床栄養学 III

【担当教員名】	対象学年	4	対象学科	健栄
永井　徹	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

臨床栄養学 III は、臨床栄養学 I 、II、臨床栄養学実習 I および学外での臨床栄養学臨地実習 II で学習してきた一連の科目の集大成と位置付けられる。
同時に、これまでに履修臨床栄養学に関する科目すべてを結び付けて理解する必要がある。さらに、復習と統合の視点から重点的学習を行う。

【学習目標・行動目標：SBO】

傷病者の病態や特徴に基づいた適切な栄養管理を行うための栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する考え方を理解し、これまでの諸科目での学習や実習経験を生かして具体的な栄養治療・評価方法を身につける。

1．主要な疾病に関して、医学的視点から基本的事項を説明できる。
2．主要な疾病の予防および治療における臨床栄養学の意義を具体的に説明できる。
3．臨床検査値について、その目的や意義の説明と結果の解釈、評価ができる。
4．ライフステージ別、疾患別に身体状況や栄養状態に応じた具体的な栄養管理方法を立案できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	各疾患最新治療ガイド改定内容１		講義と解説
2	各疾患最新治療ガイド改定内容２		講義と解説
3	各疾患最新治療ガイド改定内容３		講義と解説
4	外科疾患　術前・術後の栄養管理１		講義
5	外科疾患　術前・術後の栄養管理２		講義
6	消化器疾患　クローン病と潰瘍性大腸炎		講義
7	消化器疾患　胃腸疾患		講義
8	消化器疾患　肝、膵疾患		講義
9	神経疾患　脳血管障害		講義
10	腎疾患　慢性腎不全（透析期）		講義
11	糖尿病合併症　糖尿性腎症の病態病期における栄養管理		講義
12	周産期医療　妊産婦一合併症の治療と栄養療法		講義
13	新生児・低出世体重児の栄養治療		講義
14	その他の疾患　アレルギー疾患		講義
15	まとめ		講義

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	臨床栄養学	中村丁次、小松龍史　他	南江堂	2012・3,800 円＋税
参考書	科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン 2010	日本糖尿病学会	南光堂	2010・3,800 円＋税
	改訂今日の病態栄養療法	渡辺明治	南光堂	2008・3,500 円＋税
	病態栄養ガイドブック	改訂第３版日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2011・3,500 円＋税
	改訂第３版 NST ガイドブック 2011	日本病態栄養学会編	メディカルレビュー社	2011・3,300 円＋税
その他の資料				

【評価方法】

出席状況、レポート、定期試験より評価

【履修上の留意点】

症例提示によるメディカルカンファレンスは、症例の療養指導の問題点における管理栄養士のアプローチを個々の発表する実践の場であり、各疾患の診断・治療基準および栄養評価からの治療・栄養療法の対応について復習しておく。